

動物との暮らしがヒトに与える教育的効果[1] —保育者の視点から捉える園内飼育動物とのかかわりを通した 幼児の発達—

○ 西村信子 (ヤマザキ学園大学)

栗田薫平 # ((株) ブライトケア)

問題と目的

幼稚園教育要領(文部科学省, 2008)では, 幼児期の子どもが動植物とのかかわりを通して生命の尊さやいたわり等豊かな心情や科学的素地にもつながる思考力を育む, と明記されている。園内飼育動物と幼児との関連性についての先行研究では, 園生活への適応に関する社会面(野田・竹内, 2000; 柿沼・桜井・井戸・高橋, 2001), 思いやりや責任感, 共感性等の心理面(柿沼・桜井・井戸・高橋, 2001; 谷田・木場, 2004; 濱野, 2007), 生や死に関する教育面(野田・竹内, 2000; 谷田・木場, 2004)への効果があることが確認されている。本研究では, 日ごろ幼児を見守る保育者の視点から, 園内飼育動物とのかかわりが幼児の発達に与える影響について明らかにすることを目的とした。

方法

【調査対象者】東京都内の私立幼稚園(9園)・公立幼稚園(2園)で働く保育者 130 名(男性 9 名・女性 118 名)。
【調査期間・手続き】2013 年 9 月~11 月に, 幼稚園 11 園に對し質問紙 168 部を配布し, 130 部を回収した(回収率 77.3%)。

表1 幼児と動物とのかかわりについての質問項目因子分析結果(主因子法, promax 回転)

	因子		
	I	II	III
第1因子: 動物介在により育つ幼児の心(a=.85)			
15 子どもは命を大切にすることが育つ	.76	-.01	-.01
9 子どもへ命を教える存在となる	.74	-.10	.08
6 生と死を直接感じることが出来る	.72	-.12	.08
7 世話を通して, 子どもに責任感が芽生える	.66	-.20	-.13
1 思いやりのある子どもが育つ	.63	.03	-.02
5 ふれあうことで感情豊かな子どもに育つ	.51	.26	-.02
2 独りである子がコミュニケーションをとれる	.39	.16	.16
第2因子: 動物介在により変化する幼児の行動(a=.87)			
8 様々なことに積極的に取り組むようになる	.06	.87	-.18
14 落ち着いた子どもが集中出来る	-.14	.86	.18
10 言葉を持たない動物と接し, 協調性を学ぶ	.08	.78	-.03
3 わがままな子がまじめになるようになる	.02	.61	.20
第3因子: 幼児の居場所としての動物(a=.76)			
13 子どもにとっての「避難所」になる	-.04	.10	.77
11 寂しさをまぎらわせることが出来る	.10	-.08	.75
因子間相関			
I	—	.37**	.60**
II		—	.51**
III			—

(注) ** < .01

【調査内容】(1) 幼児と動物とのかかわりについての質問項目(図 1): 2013 年に保育者 28 名を対象に行なった予備調査から得られた家庭内・園内動物飼育に関する自由記述の結果をもとに 15 項目を抽出した。項目は, 「全くそう思わない」 ~ 「とてもそう思う」の 5 件法で評定。(2) フェイス項目: 保育者の性別, 年齢, 家族構成, 家庭内及び園内動物飼育経験, 園内動物飼育への賛否, 園内飼育動物とのかかわり効果, について回答を求めた。

結果と考察

その結果, 保育者は性別, 家族構成, 家庭内及び園内動物飼育経験の有無, 園内動物飼育への賛否には因らず, 動物とのかかわりは幼児にとって肯定的な効果があると捉えていることが明らかとなった。また, 園内動物飼育に関する保育者への自由記述からは, 飼育動物とのかかわりは幼児にとって生命概念を

築ききっかけとなりえ, 豊かな心を育み, 園適応が促されると捉えていることが確認された(表 2)。一方, 飼育動物が幼児のアレルギーや怪我の原因として危惧する保育者や飼育環境や方法に不安を抱える保育者もみられた。今後, 園内飼育動物とのかかわりを通した幼児の発達面へのより良い効果を期待する場合, 保育者は獣医師や動物看護師など動物の専門家との連携をとりながら, 幼児の発達に見合った適切な動物種の選択, アレルギーや感染症, 飼育方法, 生態など動物に関する正しい知識を習得し, 豊かな教育環境としての園内動物飼育を実践していくことが望まれる。

表2 保育者(55名)が考える園内飼育動物とのかかわりを通した教育効果

保育者の意見による因子	数	教育効果が期待される
生と死	10	「生命の大切さを伝えるためにも, 『死』を教える。」
	16	「命の大切さについて考えるきっかけ作り, 命の大切さを伝える。」
	24	「命の大切さを伝えるだけでなく, 命の大切さを伝えるだけでなく, 命の大切さを伝える。」
	10	「命の大切さを伝えるだけでなく, 命の大切さを伝えるだけでなく, 命の大切さを伝える。」
	10	「命の大切さを伝えるだけでなく, 命の大切さを伝えるだけでなく, 命の大切さを伝える。」
豊かな心	35	「(省略)『大切にすること』というところ, 子ども達が日々の中で触れ合いながら経験できる貴重な体験につながる(省略)。」
	35	「(省略)『大切にすること』というところ, 子ども達が日々の中で触れ合いながら経験できる貴重な体験につながる(省略)。」
	35	「(省略)『大切にすること』というところ, 子ども達が日々の中で触れ合いながら経験できる貴重な体験につながる(省略)。」
	35	「(省略)『大切にすること』というところ, 子ども達が日々の中で触れ合いながら経験できる貴重な体験につながる(省略)。」
	35	「(省略)『大切にすること』というところ, 子ども達が日々の中で触れ合いながら経験できる貴重な体験につながる(省略)。」
園適応	25	「(省略)責任感や優しい思いやり等が育っていくと思う。(省略)楽しみ, 喜び, 色んな感受性が強くなると思う。」
	25	「(省略)責任感や優しい思いやり等が育っていくと思う。(省略)楽しみ, 喜び, 色んな感受性が強くなると思う。」
	25	「(省略)責任感や優しい思いやり等が育っていくと思う。(省略)楽しみ, 喜び, 色んな感受性が強くなると思う。」
	25	「(省略)責任感や優しい思いやり等が育っていくと思う。(省略)楽しみ, 喜び, 色んな感受性が強くなると思う。」
	25	「(省略)責任感や優しい思いやり等が育っていくと思う。(省略)楽しみ, 喜び, 色んな感受性が強くなると思う。」
自然環境に関する関心	25	「(省略)責任感や優しい思いやり等が育っていくと思う。(省略)楽しみ, 喜び, 色んな感受性が強くなると思う。」
	25	「(省略)責任感や優しい思いやり等が育っていくと思う。(省略)楽しみ, 喜び, 色んな感受性が強くなると思う。」
	25	「(省略)責任感や優しい思いやり等が育っていくと思う。(省略)楽しみ, 喜び, 色んな感受性が強くなると思う。」
	25	「(省略)責任感や優しい思いやり等が育っていくと思う。(省略)楽しみ, 喜び, 色んな感受性が強くなると思う。」
	25	「(省略)責任感や優しい思いやり等が育っていくと思う。(省略)楽しみ, 喜び, 色んな感受性が強くなると思う。」

引用文献

濱野佐代子. (2007). コンパニオンアニマルが人に与える影響: 愛着と喪失を中心に. 白百合女子大学大学院博士論文 (未公開).

柿沼美紀・桜井富士朗・井戸ゆかり・高橋桃子. (2001). 保育現場における動物飼育: 江戸川区獣医師会「動物飼育実態調査」から. 日本保育学会大会論文研究文集 (54), 714-715

文部科学省. (2008). 幼稚園教育要領.

野田敦敏・竹内典子. (2002). 幼稚園における飼育活動と生活科への接続. 自然観察実習報告, 22, 1-8.

ピアジェ, J. (2007). ピアジェに学ぶ認知発達科学 (中垣 啓訳). 北大路書房.

谷田 創・木場有紀. (2004). 幼稚園における動物飼育の現状と動物介在教育の可能性. 日本獣医師会雑誌, 57(9), 543-548.